

品目分類：作物，技術分類：品種

餅質が優れる普通期水稻新奨励品種「鹿児島糯36号」の育成		情報分類	普及情報
〔要約〕「鹿児島糯36号」は、「サイワイモチ」に比べて出穂期で3日，成熟期で2日遅い普通期栽培用の中生の糯種である。収量性は「サイワイモチ」と同程度かやや優れる。脱粒性は難で，玄米品質が優れる。餅は「サイワイモチ」に比べて白く，きめが細かい。			
園芸作物部作物研究室		連絡先	099-245-1126
普及対象地域等	県内の普通期栽培地帯	普及見込面積等	400ha

#### 〔背景・ねらい〕

本県普通期栽培の糯品種のうち約70%を占める中生種の「サイワイモチ」は，いもち病耐病性が優れ，収穫期が「ヒノヒカリ」に近く収穫作業が効率よく行えることから広く栽培されている。しかし晩生種の「さつま雪もち」に比べて餅質が劣り，脱粒しやすい欠点があることから，「サイワイモチ」と同熟期で餅質が優れ，脱粒性を改善した糯品種が求められている。

#### 〔成果の内容・特徴〕

- 1 「鹿児島糯36号」は，中生で脱粒性難の良質糯を目的として，中生，いもち病耐病性を有する「サイワイモチ」を母，早生，脱粒性難の良質糯系統「02交母55(峰の雪もち/KG糯102)F<sub>6</sub>」を父として，鹿児島県農業開発総合センター(旧農業試験場)で平成14年に人工交配した組合せから育成した。
- 2 早晚性は「サイワイモチ」に比べて出穂期で3日，成熟期で2日遅い“中生の早”である(表1)。
- 3 稈の太さは「サイワイモチ」と同程度の“やや細”，稈の剛柔は同程度の“中”であり，耐倒伏性は「サイワイモチ」と同程度である(データ省略)。
- 4 「サイワイモチ」に比べて穂数はやや少なく，一穂粒数は多い(表1，表2)。
- 5 脱粒性は，「サイワイモチ」に比べて脱粒しにくい“難”である(表1)。
- 6 収量性は「サイワイモチ」と同程度かやや上回る。玄米の千粒重は「サイワイモチ」に比べてやや軽い(表2，表3)。
- 7 玄米外観品質は，「サイワイモチ」より優れる(表2，表3)。
- 8 餅の白さ，きめの細かさは「サイワイモチ」を上回り，硬化速度は「サイワイモチ」と同程度で「さつま雪もち」より速い(表4)。

#### 〔成果の活用面・留意点〕

- 1 適応地域は，県内の普通期栽培地帯とする。
- 2 いもち病真性抵抗性遺伝子“*Pita-2*”を持つと推定され，現状ではいもち病は発生しないが，侵害菌の動向に注意する。

〔具体的なデータ〕

表1 出穂，成熟期及び特性

品種系統名	項目	出穂期	成熟期	稈長	穂長	穂数	倒伏	いもち		白葉枯	脱粒	ふ先
	月・日	月・日	cm	cm	本/m <sup>2</sup>	程度	葉	穂	病検定	性	色	
鹿児島糯36号		8.26	10.4	84	18.1	418	1.0	0	0	3.2	難	紫
サイワイモチ(指標)		8.23	10.2	86	17.6	465	1.3	0	0	2.2	中	赤褐
さつま雪もち(比較)		9.6	10.15	77	20.8	338	0	0	0	4.0	難	紫

- 注) 1. 奨励品種決定調査の標肥栽培の平成19～22年の平均値。  
 2. 倒伏程度は0(無)～5(甚)の6段階評価。  
 3. いもち病はさつま町現地の値で0(無)～10(全株枯死・全穂首罹病)の11段階評価。  
 4. 白葉枯病は1(無発病)～9(全葉枯死)の9段階評価。

表2 収量及び品質

品種系統名	項目	わら重	精籾重	玄米重	同左比	千粒重	一穂	登熟	品質	検査等級
		kg/a	kg/a	kg/a	%	g	穂数	歩合%		1～10
鹿児島糯36号		102.0	74.5	58.5	104	20.7	82.5	83.8	4.2	6.3
サイワイモチ(指標)		94.4	72.2	56.2	100	21.5	68.8	82.9	6.0	7.3
さつま雪もち(比較)		104.7	75.0	59.3	106	21.7	100.2	84.3	4.5	5.9

- 注) 1. 奨励品種決定調査の標肥栽培の平成19～22年の平均値。一穂穂数，登熟歩合は標肥栽培の平成21～22年の平均値。  
 2. 品質：玄米の品質。数値が小さいほど優れる。以下同じ。  
 3. 検査等級：1等上(1)～3等下(9)，規格外(10)の10段階評価。(農政事務所調べ)。

表3 現地試験における出穂，成熟期及び収量構成要素

場所	品種系統名	項目	出穂期	成熟期	稈長	穂数	玄米重	同左	千粒重	一穂	登熟	品質
		月・日	月・日	cm	本/m <sup>2</sup>	kg/a	比%	g	穂数	歩合%	1～10	
出水	鹿児島糯36号		8.31	10.10	71	436	54.0	99	21.8	68.2	81.6	4.5
	サイワイモチ(指標)		8.30	10.9	72	461	54.6	100	21.5	66.1	83.5	6.0
霧島	鹿児島糯36号		9.3	10.12	71	388	46.6	98	20.2	73.1	82.8	6.0
	サイワイモチ(指標)		8.31	10.9	72	487	47.7	100	20.6	61.9	79.0	5.8
曾於	鹿児島糯36号		9.1	10.9	70	351	51.3	100	21.9	70.5	90.9	5.3
	サイワイモチ(指標)		8.29	10.8	72	430	51.2	100	22.3	65.4	88.6	7.0

注) 奨励品種決定調査現地試験の平成21～22年の平均値。

表4 餅硬化特性及びつき餅特性

品種系統名	a	b	b/a	白さ	きめ
	cm	cm			
鹿児島糯36号	21.8	9.7	0.45	4.0	4.0
サイワイモチ(指標)	22.1	10.4	0.47	3.0	3.0
さつま雪もち(比較)	2.8	22.4	8.00	3.5	3.8

- 注) 1. 餅硬化特性の値は平成22～23年の平均値。試験はつきあがった餅を，長さ50 cm，厚さ1.5 cm，幅5 cmに形成し，22時間5 で冷蔵貯蔵し，釣りかけ器に下げて調査した。  
 2. b/a：数字が大きいくほど硬化速度が遅い(軟らかい)ことを示す。  
 3. 白さ，きめは5(優れる)～1(劣る)の5段階評価。

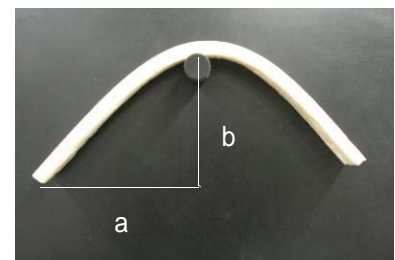


図 餅硬化特性調査

〔その他〕

研究課題名：普通期水稻新品種育成試験，農作物品種選定試験

予算区分：県単

研究期間：平成23年度(平成14～23年)

発表論文等：平成14～17年度普通期水稻育種成績書，平成18～23年度水稻奨励品種決定調査成績書